地域包括ケア病床のご案内

平成28年7月1日より当院は従来の急性期・回復期・慢性期医療の提供に加え、地域医療にさらに貢献するため、3階病棟に『地域包括ケア病床』(10床)を開設しました。

■地域包括ケア病床とは？

急性期治療を終了し、すぐに自宅や施設に退院するには不安のある患者さんに対し、在宅復帰に向けて治療、看護、リハビリテーションなどを行うことを目的とした病棟です。

■対象となる患者さん

1．入院治療により状態は改善したが、退院前にもう少し経過観察が必要な方
2．入院治療により症状が安定し、在宅復帰に向けて重点的なリハビリテーションが必要な方
3．在宅復帰への療養準備・環境整備が必要な方
4．施設(在宅復帰型等)への入所準備中の方
5．その他　在宅酸素療法を行っており、一時的に入院が必要な方など

■入院費について

入院費は定額となり、リハビリテーション、投薬料・注射料(一部を除く)、処置料、検査料、画像診断料、入院基本料などが含まれます。

※その他、食事・オムツ・個室料金など保険診療対象外のものの費用は含みません。

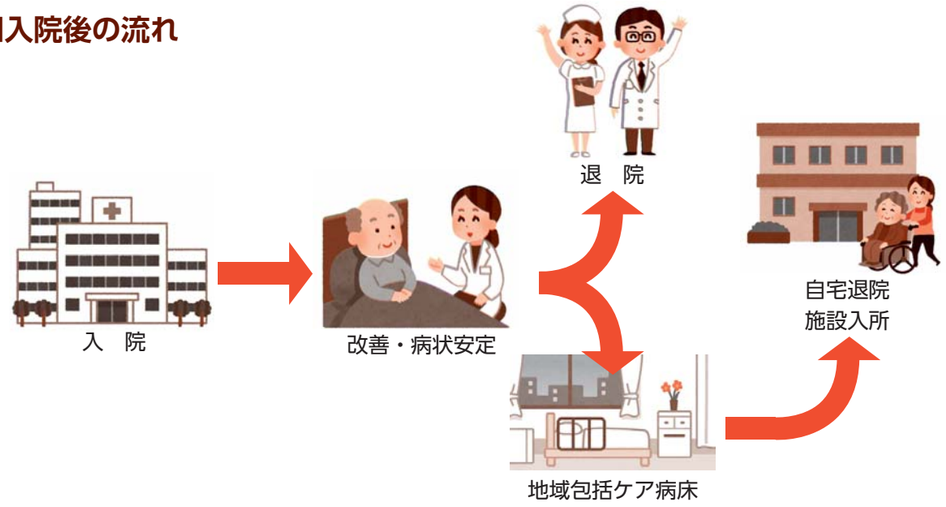
※病状等の変化により、主治医が積極的な治療が必要と判断した場合は一般病棟に病室を移動していただくことがあります。

「地域包括ケア」に入院された患者さんには、在宅復帰を円滑に行うため。「在宅復帰支援計画書」に基づいて、主治医、看護師、リハビリ担当者、在宅復帰支援担当者(医療ソーシャルワーカー)などが協力して患者さんのリハビリテーションや在宅支援(相談・準備等)を行ってまいります。

注　意！

地域包括ケア病床の入院日数は保険診療で規定されており、**最大60日まで**となっております。症状が安定しましたら、ご自宅や施設に退院していただきます。

■入院後の流れ



胃内視鏡検査(胃カメラ)

公立芽室病院だより

No. 116

ホームページアドレス
http://memuro.com
または芽室町ホームページのトップページからアクセスできます。

なぜ地域包括ケアシステムなのか

日本は諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行しています。75歳以上の人口割合は増加し続け、団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが予想されています。

このような背景の中で、在宅での介護や療養に対する希望の声は高まり、できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最期まで送ることができる社会の実現に向けて推進しているのが「地域包括ケアシステム」です。

当院では、退院後も安心してその人らしい生活を送るために、医療・看護・リハビリテーションなど、関係する職種間で連携し必要な医療や介護などのサービスを使い包括的に地域で支えていく役割を果たすために「地域包括ケア病床」を開設いたしました。

めむろ☆育児サークル「はぐ Hug」のご案内

- 妊娠中の方、子育て中の方、そのご家族などどなたでも参加ＯＫ
- 助産師・保育士も毎回参加しています。妊娠中から出産後の疑問、不安なこと気軽に何でもきくことができます。

■場　所　公立芽室病院　３階研修室
■日　時　毎月第１・第３水曜日(10時30分～11時30分)
■参加費　100円

予定しているテーマ

10月19日(水)　子育ていろいろ悩み相談	11月２日(水)　おやつの話
11月16日(水)　絵本とおもちゃの選び方	12月７日(水)　ママカフェ「夢をかなえるウイッシュリスト」
12月21日(水)　骨盤の話(トコちゃんベルト体験会)	１月11日(水)　ママカフェ「うまれるはなし」